

自治会町内会向けICT講座・ICT相談会 開催レポート

この度、自治会町内会における事務の効率化や負担軽減を目的に、会費のキャッシュレス徴収や電子回覧板の導入等、デジタル化にかかりお悩みをお持ちの自治会町内会に向けてICT講座・ICT相談会を実施しました。令和7年11月2日（日）は大曽根あけぼの会、11月22日（土）は樽町連合町内会に向けて出張型のICT講座・ICT相談会を開催し、合計約30名に参加いただきました。

また、12月9日（火）には港北区役所4階1号会議室にて開催しました。

いずれも「株式会社LOCAL JAPAN」代表取締役の頼栄明氏を講師にお招きし、主に ①デジタル活用のメリット・デメリット

②電子回覧板

③電子マネーでの会費徴収

についてご講演いただきました。

デジタルツール活用のメリットとして、作業の効率化や便利さがイメージしやすいですが、ただ便利になるだけではなく、活動が見える化されて若い世代が参加しやすくなったり、デジタルが得意な方が役員として活動に参加してくれたりと、デジタルとは「**人をつなぐ道具**」であるというお話が印象に残りました。

もちろん、個人情報取り扱いや費用負担等、気を付けなくてはならない点もありますが、情報発信前に内容を確認する、無料ツール（体験版）から始めてみる等、きちんと対策やツールを知れば導入できます。

令和6年度「港北区区民意識調査」では、自治会に加入していない理由として、約50%が「加入するきっかけがない」と回答しています。

デジタルツールでの情報発信は、加入するきっかけとして活動が伝わる仕組みづくりに大いに役立ちます。

当日参加いただいた方からは「高齢化が進んでいる地域だが、デジタルを使える人が使えないのも不平等だと感じている」との声もあがりました。



情報発信のツールとして、LINEであれば無料で利用でき、高齢の利用者も多いので情報を送る側も受け取る側も使いやすいです。しかし、ここで重要なのが、**デジタルを導入したからといってアナログがなくなるわけではない**ということです。情報を受け取る側は選択肢が広がり便利になりますが、運営する側の手間は増えます。そのため、そこまでして導入したいかどうか、導入前に**「何のためにそのツールを導入するのか」目的を設定すること**が運営を継続する上で大切です。

また、PayPayでの会費徴収が一時話題になりましたが、PayPayは無人の場所に加盟店専用QRコードを置いてはいけないというルールがあり、**支払いのやり取りは無人ではできません**。そのため、会費をPayPayで徴収する場合はQRコードを持って直接集金する必要があります。一方で、地域のお祭りでの模擬店で導入する場合は、QRコードを店舗に置くだけでよいので、現金管理の負担軽減や支払い方法の選択肢が広がるという点からオススメです。

その他、電子回覧板と集金の両方ができるツールとして、「デジ町町内会LINE」「Yumicom」「My自治会」等をご紹介いただき、実際にスマートフォンを使って体験する時間もありました。



あくまでもデジタルと
アナログを併用しながら
やっていくことが
大事だと分かった

メリットデメリットが
あるので、使う人、
使い方によって感じた

ラインしか分から
なかったもので、
大変勉強になった

参加者の声

**第2回 区役所ICT講座・ICT相談会を
開催します！是非、ご参加ください。**

日時：令和8年2月15日（日）
10時から12時まで
場所：港北区役所4階1号会議室

